

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			28年度	28年度	33年度		
10	森林蓄積量	千m <sup>3</sup>	6,286	6,500	7,000	96.7%	生産流通課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します	生物多様性地域戦略推進事業	平成26年3月に策定した生物多様性地域戦略の進行管理を行うと共に、生物多様性の保全等に関する事業を行う。	○「かごしま自然百選」ガイドブックの配布 ○国際生物多様性の日(5月22日)を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性実感イベント等の開催 ○市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進	環境保全課
	自然保護事業	自然公園法に基づく許可申請等の受理及び県知事への送付業務	○自然公園法に基づく許可申請の受理等を行った。	環境保全課
	自然保護事業	生態系に影響を及ぼすマングースが喜入地域で発見されていることから、県が実施している調査等への協力を行う。	○県と連携し、マングースの情報収集や広報啓発を行った。	環境保全課
	国立公園桜島地区美化協会負担金	桜島地区の自然環境を清潔に保持するため、美化協会へ負担金の支出を行う。	○桜島の袴腰地区の美化清掃を実施した。	観光振興課
	間伐実施事業	森林のもつ水源かん養機能などの高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐に要する経費に対し助成する。	○間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕15.55ha 〔補助金額〕489千円	生産流通課
	万之瀬川流域森林造成対策事業	万之瀬川流域森林において、水源かん養機能の高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐等に要する経費に対し助成する。	○万之瀬川流域における間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕4.41ha 〔補助金額〕917千円	生産流通課
	甲突川・稲荷川流域水源の森整備事業	甲突川及び稲荷川流域森林において、水源かん養機能の高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐等に要する経費に対し助成する。	○甲突川、稲荷川流域における間伐実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕4.81ha 〔補助金額〕911千円	生産流通課
	市有林・分収林の保育作業	市有林・分収林において、水源かん養機能などの高度発揮を図るため、間伐等を行なう。	○市有林において間伐・下刈を行った。 〔間伐面積〕25.61ha 〔委託料〕17,069千円	生産流通課
造林推進事業	造林を推進するため、造林用苗木の購入経費に対し助成する。	○造林用苗木の購入経費に対し助成した。 〔苗木本数〕9,375本 〔補助金額〕449千円	生産流通課	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築) 》

《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します	市民と協働の森林づくり事業	企業やボランティア団体が実施する森林活動に対して支援を行い、市民活動を中心に森林整備を図る。	○森林情報等をホームページに掲出し、森林所有者と企業、ボランティア団体との協定締結を推進した。 ○市民を対象にした森林・林業体験イベントを行った。 [開催日] 7/17 [参加者] 21名	生産流通課
	喜入のメヒルギ再生整備活用事業	国指定特別天然記念物である喜入のメヒルギの再生を図るため、生息地の環境改善のための整備を行う。	○年2回開催する再生整備活用検討委員会での協議をもとに、次の各事業を実施した。 ・海水導水 ・水質、底質検査 ・土砂、芝の除去 ・土壌穿孔 ・枯枝剪定 ・文化庁調査官招聘 等	文化財課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			28年度	28年度	33年度		
11	自然遊歩道	箇所	8	8	9	達成	環境保全課
12	グリーン・ツーリズム 登録団体数	団体	44	38	43	達成	グリーンツーリズム推進課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	自然遊歩道の利用促進	自然遊歩道の維持管理及び広報啓発	○自然遊歩道の維持管理及び広報啓発を継続し、新たにグリーンファーム自然遊歩道を指定した。 (8ヶ所10コース)	環境保全課
	自然保護事業	赤水採石場跡地の活用	○赤水採石場跡地の活用として植樹を行った。	環境保全課
	かごしま環境未来館管理運営事業 (甲突川リバーフェスティバルの開催)	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催することにより、川をはじめとする環境問題への関心を広く喚起する。	○甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催した。 ・甲突川リバーフェスティバル 〔開催日〕8/6、7	環境政策課
	【28拡】 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	桜島・錦江湾ジオパークの世界認定に向け、またジオパーク活動の推進を図るため、観光・経済団体や地域・まちづくり団体など様々な団体と協働・連携しながら推進を図る。	世界ジオパーク認定に向けて、ジオパーク活動を推進した。 ○世界ジオパーク認定に向けた取組 ○ジオに関する活動の展開 ・ジオツアー、ジオ講座の開催 ・灰フェスの開催 など ○【拡】情報発信・PR映像の制作 ・ホームページの活用 など	ジオパーク推進室
	【28拡】 グリーン・ツーリズム推進事業	こどもたちに農作業体験を通して、農業に関する関心を高め、都市と農村との交流を深める。	農作業体験等を通じて都市と農村との交流を促進した。 ○農作業体験学習の支援 〔実施地域〕9地区  ○棚田保全支援 〔補助〕30万円×1団体  【拡】農家民泊、民宿ガイドの作成、グリーンツーリズムHPのリニューアル、案内板の増加	グリーンツーリズム推進課
【28拡】 観光農業公園交流体験事業	農業・自然・調理・環境の各種体験プログラムを実施するとともに、来園者同士の交流を促進する。	○園内外の自然を活用した自然体験プログラムのほか各種体験プログラムを実施した。 〔体験者数〕 ・農業：17,781人 ・自然：9,538人 ・調理：7,397人 ・環境：1,683人  ○【拡】グリーンファームサポーターを設置し、イベント等の充実や来園者同士の交流促進を図った。 ・サポーター登録者：33人	グリーンツーリズム推進課	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	市民農園運営補助事業	消費者に農作業体験を通じて、農業と農村への理解と認識を深めてもらうとともに、地域の活性化を図る。	○市民農園管理組合への助成：7農園・492区画 ○入園式の開催 ○栽培講習会の開催(年2回) ○圃場品評会の開催など	農政総務課
	市民農園の管理運営	市民への農園の貸出	○貸出区画数：820区画 ・家族用区画：766区画 ・団体用区画：44区画 ・車いす用区画：10区画	都市農業センター
	自然観察会の開催	ホテルを見る夕べの開催(かごしま健康の森公園の指定管理者である(公財)鹿児島市公園公社が実施する。)	[開催日] 5/21 [参加数] 2,800人	公園緑化課
	海水浴場管理運営	磯海水浴場、生見海水浴場、西道海水浴場、レインボービーチの開設	[開設期間] ・磯海水浴場：7/9～8/31 ・生見海水浴場：7/21～8/31 ・西道海水浴場：7/21～8/31 ・レインボービーチ：7/21～8/31	スポーツ課
	各学校における農業体験学習の実施	総合的な学習の時間等で、米や野菜、果物栽培等を通じた食と農を考える体験学習を実施する。	総合的な学習の時間等で、体験を伴った農業体験学習等を学校の実態に応じて取り入れるよう学校訪問や研修会等で指導した。	学校教育課
	青少年ふれあい交流・体験活動	小学校4～6年生を対象に、少年自然の家、本名川等で宿泊を伴う体験活動を実施する。	○少年自然の家、本名川で体験活動を実施 [開催日] 7/25～26(1泊2日) [参加者数] 小学生22人 ・ジュニアリーダー6人を募集	青少年課
	ファミリーキャンプ	親子でキャンプ、野外炊飯、天体観望等の活動を通して、家族の絆を深めるとともに野外活動等への興味、関心を高める。	[開催日] H28.7.16～17(1泊2日) [参加者数] 19家族	少年自然の家
	ワイルドキッズ林間学舎 冬の自立キャンプ	宿泊体験等を行い、自立する心を育み、共同で生活することを通して仲間と協力することやお互いを思いやることの大切さを体験する。	○ワイルドキッズ林間学舎(小学1・2・3年生) [開催日] H28.10.15～16(1泊2日) [参加者数] 118人 ○冬の自立キャンプ(小学4年～中校生) [開催日] H29.2.5～6(1泊2日) [参加者数] 49人	少年自然の家
夏の親子クラフト教室	自然の素材を使った創作活動を通して、自然と親しみ、興味・関心を高めるとともに、家族の触れ合いや絆を深める。	[開催日] H28.7.24 [参加者数] 32家族	少年自然の家	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築) 》

《基本目標(3) 生態系に配慮したまちづくりを進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			28年度	28年度	33年度		
13	市街化区域の緑地割合	%	8.2	—	7.7	—	公園緑化課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(3) 生態系に配慮したまちづくりを進めます	準用河川改修事業	災害に強いまちづくりを進めるとともに、環境に配慮した河川の整備を行う。	○実績なし	河川港湾課 谷山建設課 道路建設課
	都市基盤河川木之下川改修事業	土地区画整理事業と併せて河川改修を行い、都市環境の整備を図る。	○実績なし	谷山都市整備課
	城山公園自然の森再生事業	市街地の中心に位置する城山公園では、降雨による斜面崩壊や外来種の侵入による自然林の減少など、植物を巡る環境に変化が生じていることから、指定文化財の有する普遍的価値を尊重しながら、貴重な緑を次世代へ継承する。	○城山公園保全計画に基づき、園路整備工事、モウソウチクやハヤトウリ等の外来種駆除や植生調査を実施。 〔園路整備工事〕 園路280m 〔外来種駆除〕 モウソウチク207本ほか	公園緑化課

《基本方針 3 恵み豊かななごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(4) 環境に配慮した農林水産を進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			28年度	28年度	33年度		
14	エコファーマーの 認定件数	件	111	119	130	93.3%	生産流通課

※エコファーマー＝県知事が認定するもので、土づくり、化学肥料の使用低減、化学合成農薬の使用低減に一体的に取り組む、環境にやさしい農業実践者

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	28年度実績	関係課
(4) 環境に 配慮した 農林水産 を進めます	環境保全型農業推進事業	防除薬剤の使用軽減に努め、環境に配慮した農業を進めるため、防除資材の導入経費などに対し助成する。	○減農薬栽培推進事業：防虫資材等の導入に対する助成 〔補助金〕 4,024千円  ○環境保全型農業直接支援事業：環境保全効果の高い営農活動を行う農業者に対する直接支援 〔交付金〕 1,718千円	生産流通課
	環境保全型畜産推進事業	家畜ふん尿処理施設（堆肥舎）等の整備を進め、畜産による環境汚染を未然に防ぎ、良質の堆肥を耕地に還元することにより土づくりに資する。	○家畜ふん尿処理施設等の整備を進めた。 (※実績無：H28は元々予定無し。)	生産流通課
	放養量、給餌量の適正化の指導・啓発	県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が図られるよう指導を行う。	○県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が図られるよう指導を行った。	生産流通課
	農林水産物PR事業	各種イベント等により、市民に豊富な市内産の特産農林水産物への理解を深めてもらい、地産地消の推進を図る。 (実施主体：市農産物等流通促進協議会)	○市内産農産物旬のキャンペーン 3回 ○食の産地交流会：3回 ○暮れの市：1回 ○茶手もみ実演：4回 ○松元茶PRキャンペーン：4回 (※H28旬のクッキング教室は元々予定無し。)	生産流通課
	遊休農地解消等対策事業	遊休農地の現状把握に努めるとともに、遊休農地の発生防止や解消に努める。	○情報の収集・発信及び解消策等の検討 ・遊休農地バンクの運営等  ○遊休農地の再生利用 ・よみがえれ農地事業 (遊休農地の開墾経費助成0.14ha)  ○遊休農地の発生防止 ・農地流動化対策事業（農地の貸借に対する助成13.6ha） ・農地中間管理機構集積協力金交付事業	農政総務課